

# 平成26年度病害虫発生予察注意報第4号

平成26年 8月18日  
愛 知 県

作物名：イネ

病害虫名：斑点米カメムシ類

1 発生地域 県内全域（普通期栽培）

2 発生程度 多い

3 注意報発表の根拠

(1) 県内各地に設置している予察灯への誘殺数が平年よりやや多く推移している。特に西尾市の予察灯では、8月上旬までのミナミアオカメムシの誘殺数は本虫の調査をするようになった平成20年以降で最も多い。

(2) 8月上旬の巡回調査における本田の捕虫網20回すくい取り調査（106か所）では、ミナミアオカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシなどの斑点米カメムシ類の水田内での生息を確認しており、平均3.05頭（過去8年の平均2.15頭）と、過去8年で2番目に多い捕獲数であった。なお、近年問題となっているミナミアオカメムシの生息数は、調査をするようになった平成21年以降で最も多い0.71頭であった。

4 防除上注意すべき事項

(1) 周辺の水田よりも出穂の早いほ場では、斑点米カメムシ類が集中して飛来することがあるので、特に注意する。

(2) 畦畔や水田内で斑点米カメムシ類を確認した場合、下表を参考に、穂揃期に薬剤防除を実施する。その後も発生が多い場合は、7～10日後に再度防除を行う。

表 斑点米カメムシ類に対する主な防除薬剤

薬 剤 名	使用時期	希釈倍数・使用量	使用回数
キラップフロアブル	収穫14日前まで	1,000～2,000倍	2回以内
キラップ粉剤DL	収穫14日前まで	3～4 kg/10 a	2回以内
キラップ粒剤	収穫14日前まで	3 kg/10 a	2回以内
スタークル／アルバリン粉剤DL	収穫7日前まで	3 kg/10 a	3回以内
スタークル／アルバリン粒剤	収穫7日前まで	3 kg/10 a	3回以内
スタークル液剤10	収穫7日前まで	1,000倍	3回以内
スタークル豆つぶ	収穫7日前まで	250g/10 a	3回以内
ダントツ粒剤	収穫7日前まで	3～4 kg/10 a	3回以内

使用回数には、同一有効成分を含む剤の使用回数を含む。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線471